



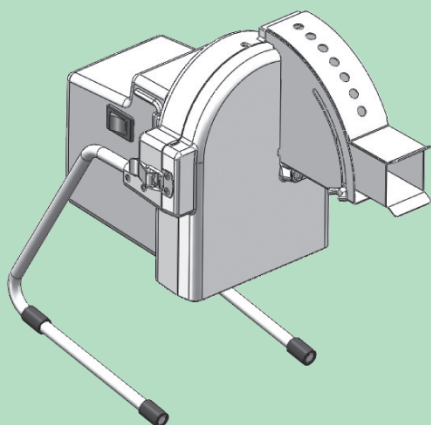
PRO CHEF

ネギスライサー

取扱説明書

ネギスライサー

型式/SW130A



- このたびは、プロシェフ ネギスライサーをお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。
- この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。なお、正しくご使用されなかった場合は、保証対象外となります。
- お読みになったあとは必ずいつも手元においてご使用ください。

お客様用



も く じ

■安全上のご注意	1
■各部のなまえとその働き	4
■付属品・注意ラベルの貼付位置	4
■設置と運転前の確認	5
■ご使用方法	6
●運転の手順	6
●プロテクターについて	8
●安全スイッチについて	8
■刃物の交換のしかた	9
●刃物の取り外し・取り付け方	9
■刃物の研ぎ方	10
■お手入れ	11
●毎日のお手入れ	11
●汚れが目立つときのお手入れ	12
■点検	12
●1年に1~2回の点検	12
●保管方法	12
■故障の見分け方と処置方法	13
■譲渡	13
■仕様	14
保証書・アフターサービスについて	巻末

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション




安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が、想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

 感電注意	△は、注意（危険、警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 分解禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
 プラグを抜く	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

警告

お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること

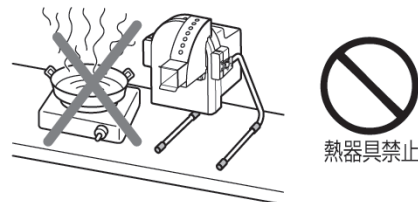
もし損傷があれば販売会社へ損傷の状況を（梱包箱と共に）連絡してください。損傷のまま使用すると、感電、火災、ケガの原因となります。



損傷確認

熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと

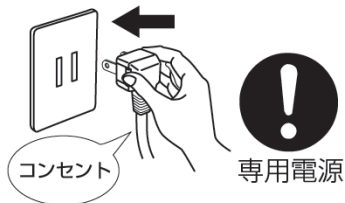
熱でプラスチックが溶けたりして危険です。



熱器具禁止

電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

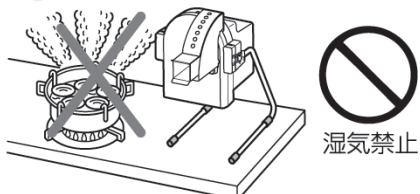
感電、ケガの原因になります。



禁止

湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



湿気禁止

製品に直接水をかけたり、製品を水の中に沈めたりしないこと

ショート、感電、錆び、故障の原因になります。

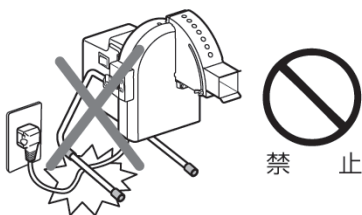


水掛け禁止

警告

電源コードを傷つけたり、汚さないこと

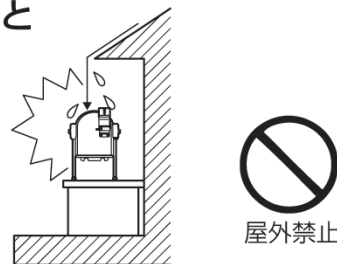
加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電・感電の原因になります。



屋外禁止

電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

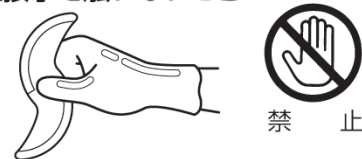
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



点検掃除

切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。



禁止

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

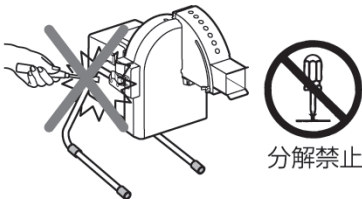
感電の原因になります。



濡手禁止

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理しないこと(刃物の交換・刃物研ぎ・お手入れ作業は除く)

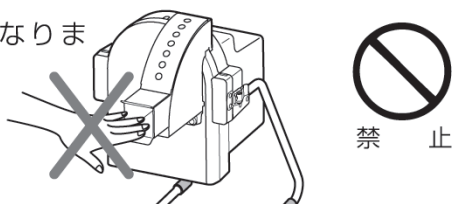
異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



分解禁止

運転中にフタを開けたり、投入口、排出口の中に手を入れないこと

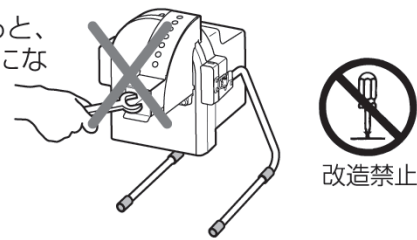
ケガの原因になります。



禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造工事をされると、感電、火災の原因になります。



改造禁止

漏電遮断器を使用している場合、OFF(切)に作動した時には、最寄りの販売会社へ連絡すること

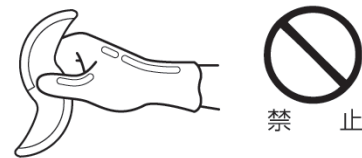
無理にON(入)にすると、感電や火災の原因になります。



漏電連絡

刃物の取扱には、必ず手袋を着用し、刃先に直接手を触れないこと

改造工事をされると、感電、火災の原因になります。



禁止

異常時は、電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。

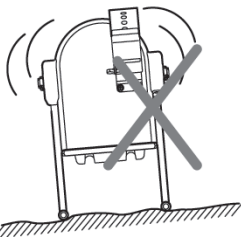


プラグを抜く

⚠ 注意

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

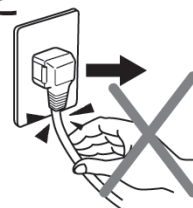
据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



水平設置

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

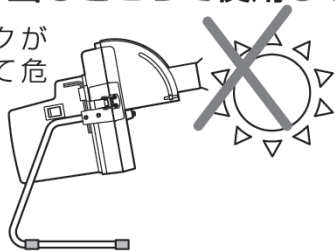
必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



禁止

直射日光の当たるところで使用しないこと

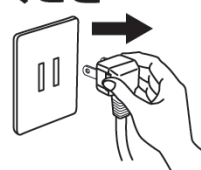
プラスチックが割れたりして危険です。



禁止

1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

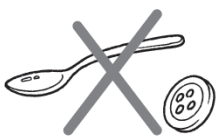
電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。



プラグを抜く

投入口に食材以外の異物(スプーン・つま楊枝・ボタンなど)は入れないこと

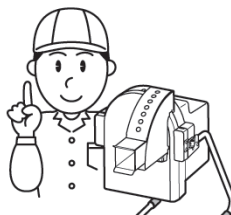
モーターが止まり、発熱、火災の原因になることがあります。



異物禁止

廃棄は専門の業者か、最寄の販売会社に依頼すること

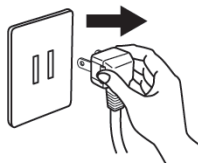
放置しますとケガの原因になることがあります。刃物の廃棄は危険な物として処理してください。



専門業者

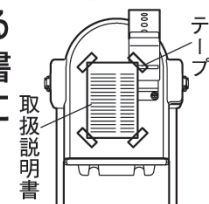
運転中にモーターが止まったときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグを抜き、切削した食材は捨て、食材以外の異物(スプーン・つま楊枝・割箸など)や刃物の破片が切削室の中に入らないことを確認すること

ケガの原因になることがあります。



異物確認

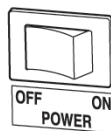
このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つ所にテープ止めすること



テープ止め

掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグも抜くこと

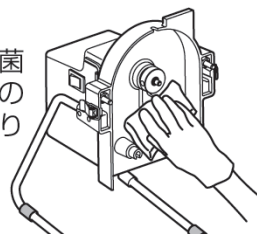
思わぬところに水が入って感電したり、やけどの原因になることがあります。また、製品が動き出して、ケガの原因になります。



プラグを抜く

切削室及び投入口、フタは使用前に必ず掃除をすること

掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康傷害の原因になることがあります。



洗浄

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



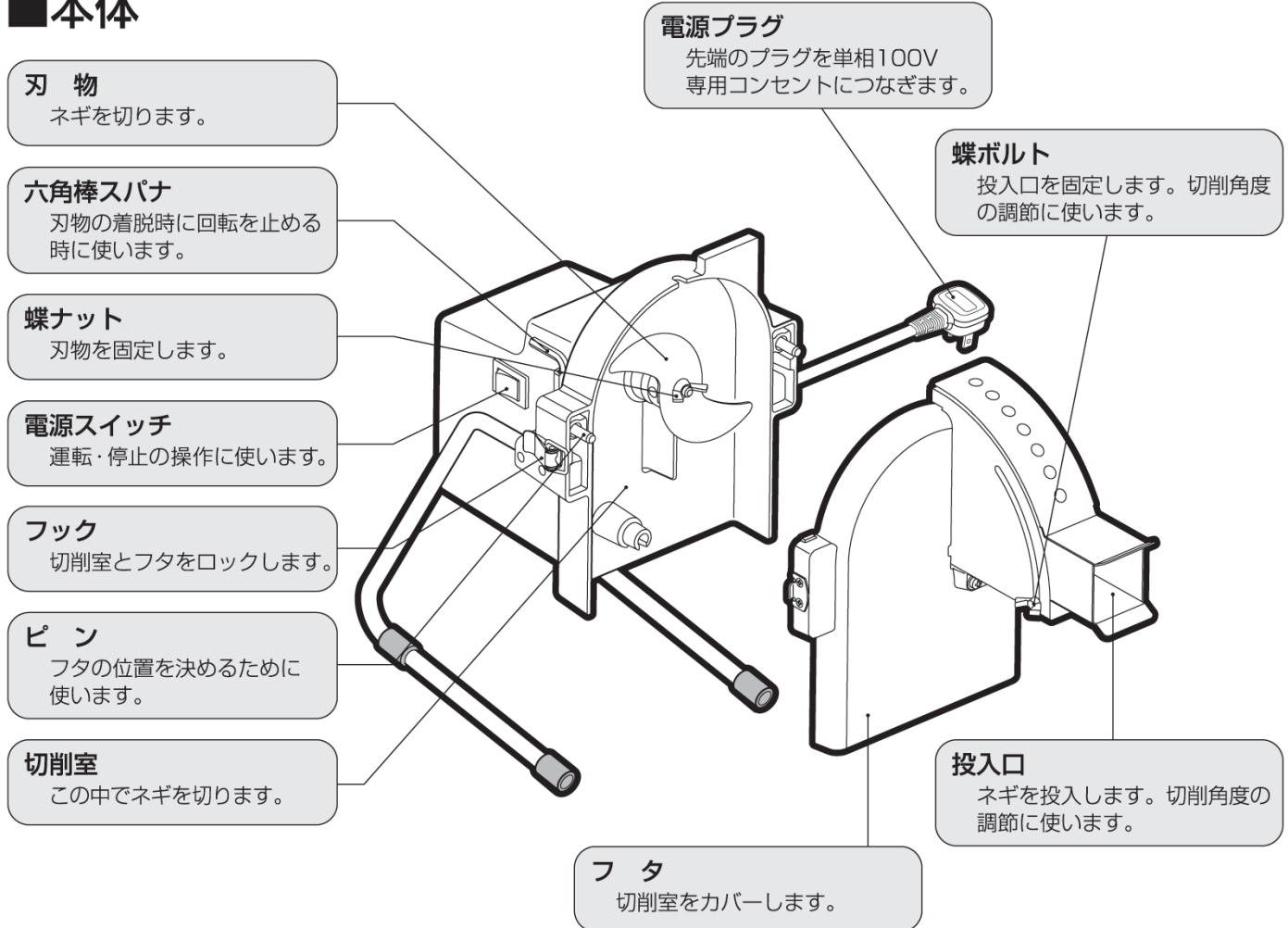
禁止

各部のなまえとその働き

■使用目的

- 白ネギの輪切りと斜め切りに使います。（本機は白ネギ専用機です。）

■本体



各部のなまえとその働き

■付属品

六角棒スパナ（1個）



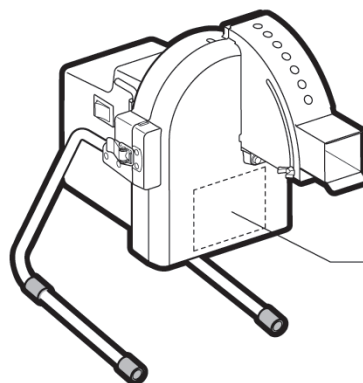
取扱説明書（本書）



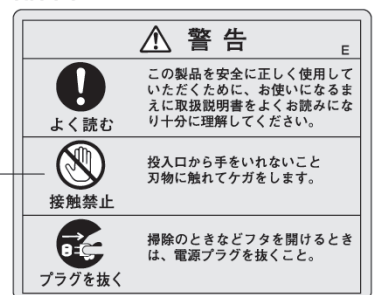
■注意ラベルの貼付位置

お願い

- ラベルを剥がさないでください。
- ラベルが剥がれたり、文字が消えたりした場合は、販売会社より購入し、貼り替えてください。ご注文のときは、ラベルの品名をご指示ください。



品名：PLラベル 708



（本体全面に貼り付けてあります。）

設置と運転前の確認

■設置

⚠ 警告

電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源

湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



湿気禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電・感電の原因になります。



屋外禁止

熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。



熱器具禁止

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

感電、ケガの原因になります。



禁止

⚠ 注意

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



水平設置

直射日光の当たるところで使用しないこと

プラスチックが割れたりして危険です。



禁止

■運転前の確認

- 周囲温度10～40℃でお使いください。
使用温度範囲は周囲温度10～40℃です。この温度範囲以外では、正常に動作しないことがあります。
- 電源は交流100Vに接続してください。
使用電源電圧は90V～110Vでお使いください。但し発電機は使用しないでください。発電機使用時の故障は保証いたしません。
- 初めてお使いになる時は、保管時にホコリ・ゴミなどが切削室内・投入口などに入っている恐れがありますので掃除をしてください。（P.11のお手入れ参照）

■その他

- 地域によっては、イベント等屋外での使用が許可されない場合がありますので、当該機関（保健所等）までお問い合わせください。

ご使用方法

警告

運転中にフタを開けたり、送り装置、排出口の中に手を入れないこと

ケガの原因になります。



禁止

異常時は、電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること



プラグを抜く

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。



濡手禁止

注意

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



禁止

1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグをコンセントから抜くこと



プラグを抜く

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。

運転中にモーターが止まったときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグを抜き、切削した食材は捨て、食材以外の異物(スプーン・つま楊枝・割箸など)や刃物の破片が切削室の中に入らないことを確認すること

ケガの原因になることがあります。



異物確認

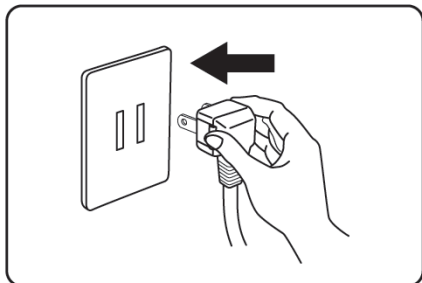
投入口に食材以外の異物(スプーン・つま楊枝・ボタンなど)は入れないこと

モーターが止まり、発熱、火災の原因になることがあります。



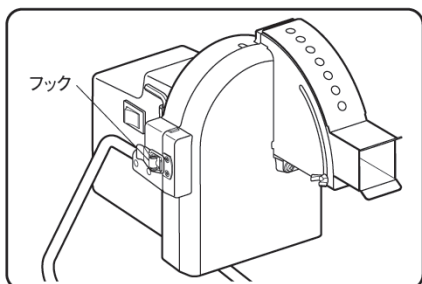
異物禁止

■運転の手順



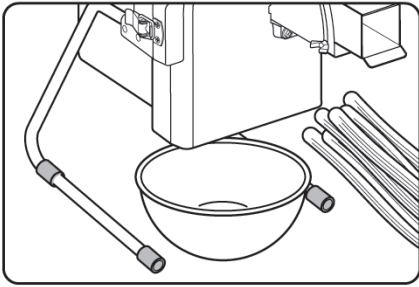
1 電源プラグを差し込む。

- 電源スイッチがOFF(切)になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。



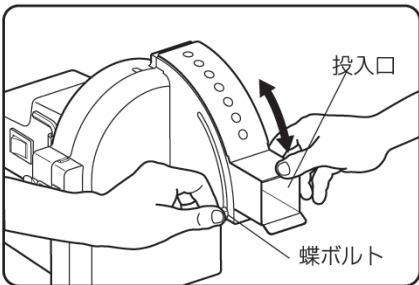
2 フタを閉める。

- フタを閉め、両サイドのフックで確実に止める。確実に止めないと、スイッチをON(入)にしても安全スイッチが作動し、製品が動きません。



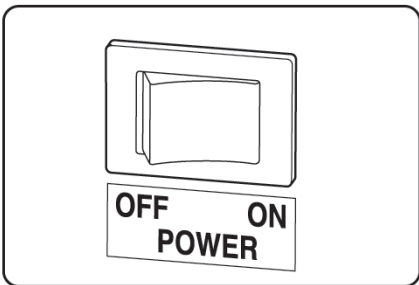
3 ネギと容器を準備する。

- ネギは砂や土などを洗い流し、根を切り取ります。また、しおれたものや枯れたものは取り除いてください。
- スライスされたネギを受けるボールなどの容器を排出口の下に置いてください。



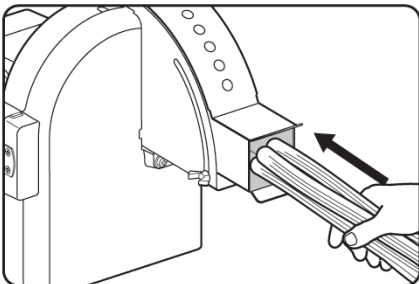
4 切削角度の調節をする。

- 投入口の横にある蝶ボルトを緩めて投入口を回転させます。
- 投入口を最下部の位置にすると輪切りになり、投入口を上部へ回転させると斜め切りになります。お好みの位置で蝶ボルトを閉めて固定してください。



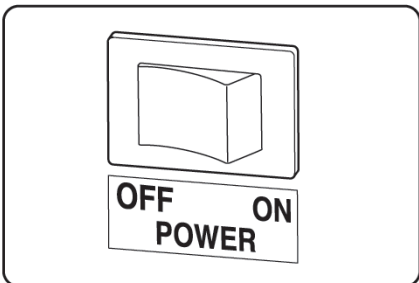
5 電源スイッチを入れる。

- 電源スイッチをON (入) にしてください。刃物が回転し、切削が可能になります。
- ※運転中に投入口や排出口から手を入れないでください。ケガの原因になります。



6 ネギを投入口に入れて切削をする。

- ネギを投入口から入れます。ゆっくり押し込むと薄く切れます。早く押し込むと厚く切れます。
- ネギが短くなったら次のネギを入れて前のネギを押ししてください。
- ※この製品に厚み調節機能はありません。

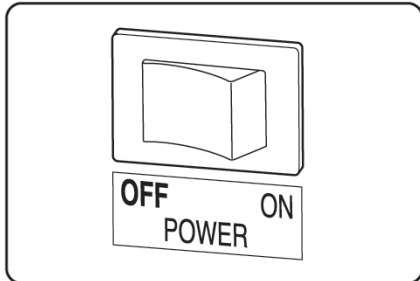


7 電源スイッチをOFF (切) にし、使用後は電源プラグを抜く。

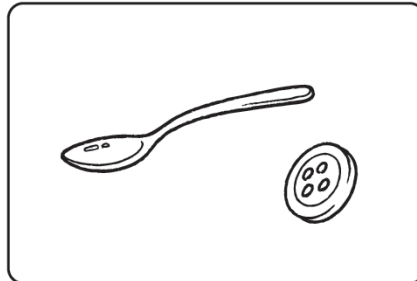
- 電源スイッチをOFF (切) にしてください。刃物の回転が停止します。
- 一日の営業が終わったら、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■プロテクターについて

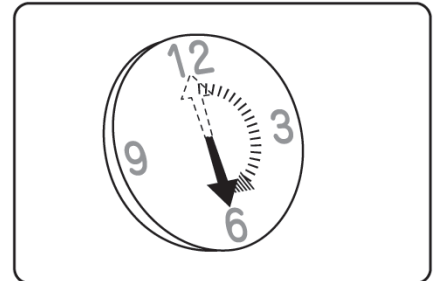
- 本製品は、定格時間が「30分」です。それ以上連続使用するとモーターが過熱し、プロテクターが作動して製品が停止します。また、負荷がかかり過ぎたときにも同様に製品が停止します。
- プロテクターはモーターに内蔵しております。
- 作動したときは、次の処置をしてください。



- 1** 電源スイッチをOFF(切)にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。



- 2** 過負荷の原因を取り除いてください。ネギ以外の異物(スプーン・つま楊枝・割箸など)を取り除いてください。また、刃物に損傷がないか確認してください。



- 3** 30分放置してください。モーターの温度が下がり自動的に復帰いたします。
※プロテクターがたびたび作動する場合は販売会社にご相談ください。

■安全スイッチについて

- 運転中にフタを開けると危険防止のため、安全スイッチが働き、製品が停止します。
- 安全スイッチを電源スイッチのかわりに使うことは絶対にしないでください。故障の原因になります。

刃物の交換のしかた

警告

切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと



ケガの原因になります。

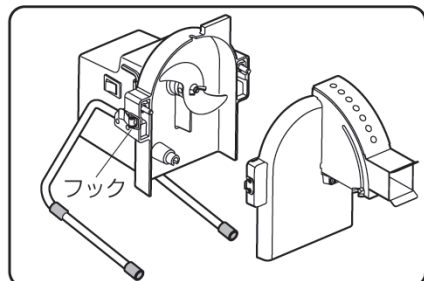
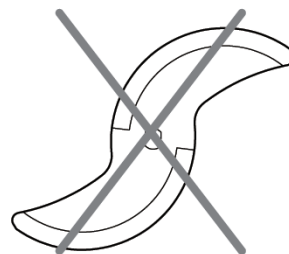
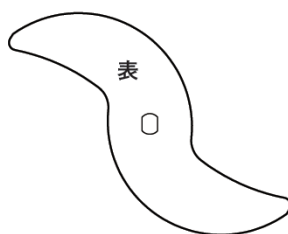
禁止

■刃物の取り外し・取り付け方

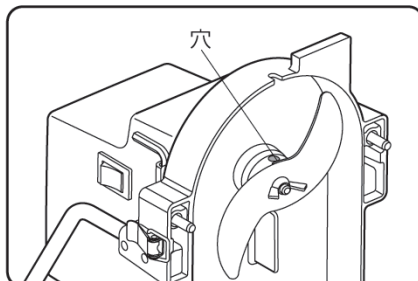
ご注意

- 刃物の表と裏は注意して取り付けてください。逆に取り付けると切削ができません。
- 刃物固定用の六角棒スパナはご使用後は必ず抜き取ってください。抜き取らずにそのままご使用するとモーターがロックされ故障の原因となります。

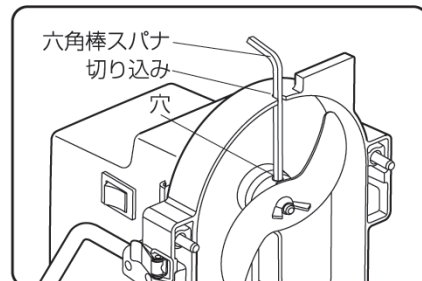
刃物の表と書いてある面が手前になるようにセットしてください。



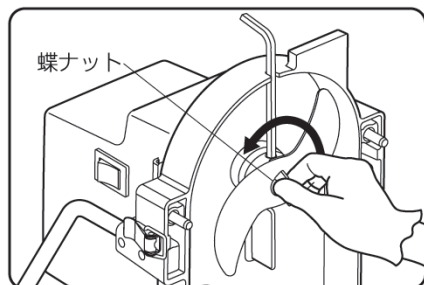
- 1 フックを外してフタを本体から取り外します。



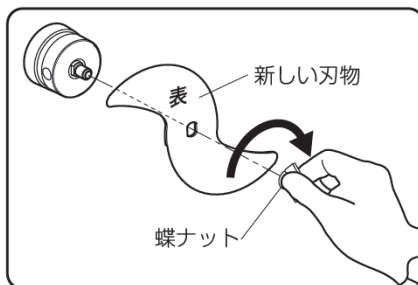
- 2 刃物の位置を図のように穴が上にくる位置に手で回してください。



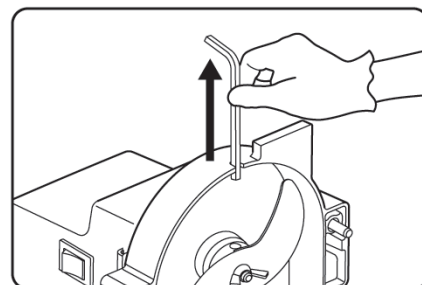
- 3 刃物の回転を止めるため付属の六角棒スパナを図の穴と切り込みに差し込みます。



- 4 刃物を固定している超ナットを反時計方向に回して緩めます。



- 5 刃物の表と書いてある面が手前になるようにして新しい刃物を本体にセットし蝶ナットを時計方向に回して固定します。



- 6 刃物固定用の六角棒スパナはご使用後は必ず抜き取ってください。

刃物の研ぎ方

警告

切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、手袋をはめて行い、刃先に直接手を触れないこと

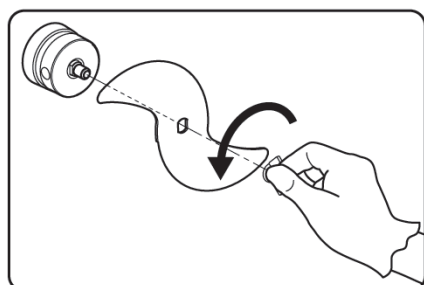
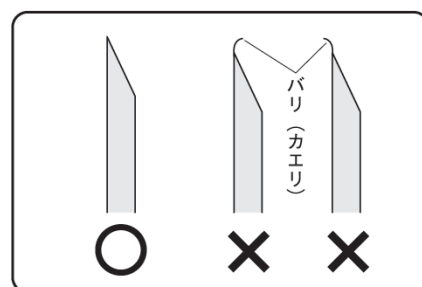


禁止

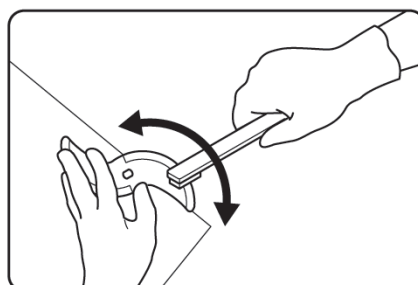
- 刃物の切れ味が悪くなった場合は、はさみや包丁などを研ぐときに使われるダイヤモンドヤスリ（ダイヤラップ）を使用して刃物を研ぐことができます。（ダイヤモンドヤスリは機械には付属されていません。別途ご購入してください。）
- ダイヤモンドヤスリの粗さは#400番を推奨します。

ご注意

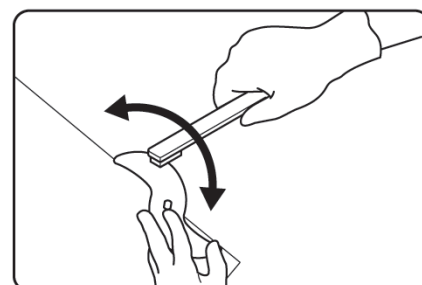
- 刃物を研磨した後、刃先にバリ（カエリ）がないか確認してください。バリ（カエリ）があると、切れ味が良くなりません。（右図参照）



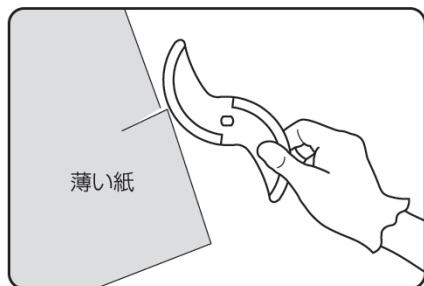
- 1 P.9を参照して刃物を本体から外します。



- 2 刃物の角度がついた面を上にして刃先に軽くダイヤモンドヤスリを当てながら刃物の円弧形状に沿って2～3往復させて研ぎます。



- 3 刃物を裏返し平らな面を上 にします。ダイヤモンドヤスリを平らな面に合わせて当ててバリ（カエリ）を取ります。この時、取り過ぎると両刃になり切れなくなるので軽くダイヤモンドヤスリを当てて2～3往復させてください。



- 4 薄い紙（新聞紙など）を用意して切れ味を確認します。軽い力で切ることができれば終了です。切れない時は再度2と3の作業を行ってください。

お手入れ

警告

製品に直接水をかけたり、製品を水の中に沈めたりしないこと

ショート、感電、錆び、故障の原因になります。



水掛け禁止

切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。



禁止

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。



濡手禁止

注意

掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグも抜くこと

思わぬところに水が入って感電したり、やけどの原因になることがあります。また、製品が動き出して、ケガの原因になります。



プラグを抜く

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



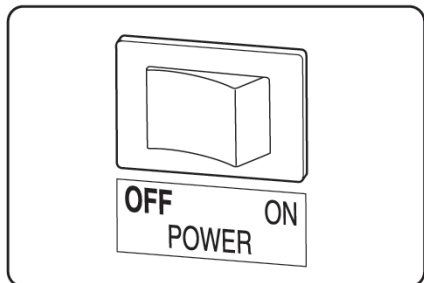
禁止

お願い

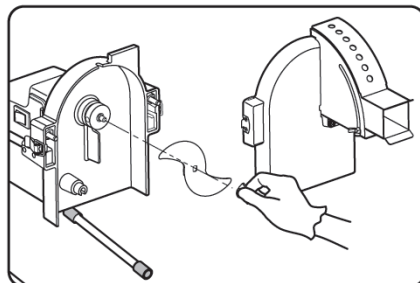
- 40℃以上のお湯で洗ったり、食器洗浄機・乾燥機・消毒保管庫などを使用しないでください。プラスチックが変形することがあります。
- プラスチック面をいためますので、つぎのようなものは使わないでください。シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・酸・次亜塩素酸ソーダ・たわしなど。なお、化学雑巾をご使用のときは、その「使いかた」に従ってください。

■毎日のお手入れ

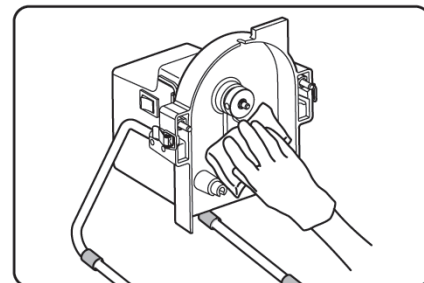
- ご使用後は必ずお手入れをしてください。野菜が腐り衛生的に非常に悪くなります。



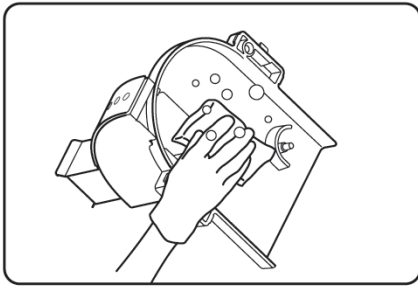
- 1** 電源を切る
電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。



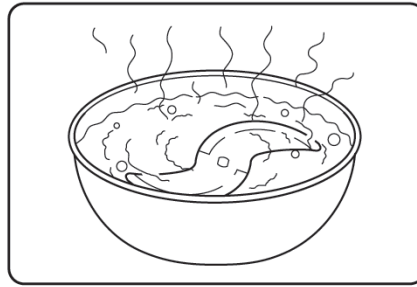
- 2** フタと刃物を外す
必ず手袋を着用してください。フックを外しフタを外し付属の工具を使用して刃物を外してください。(P.9参照)



- 3** 切削室の清掃
湿らせたスポンジ等で汚れを取り除き、乾いた布で水気を拭き、よく乾燥させてください。
※水を直接掛けて洗わないでください。漏電・故障等の原因になります。



4 フタ・投入口の洗浄
 中性洗剤にて汚れを落とし
 た後で水道水で洗い流し、
 乾燥した布で水気を拭きよ
 く乾燥させてください。



5 刃物の洗浄
 熱湯で10分ほどつけた後水
 で洗い流してください。(ネ
 ギの汁を完全に取ると刃物
 の切れ味が長持ちします。)

■汚れが目立つときのお手入れ（本体外面）

- 中性洗剤を入れたぬるま湯を含ませた布巾で拭いた後、洗剤分が残らないように水を含ませた布巾で拭き取ってください。

点検

■1年に1～2回の点検

⚠ 警告

電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着して
 いないか定期的に確認し、ガタツキのない
 ように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合
 は、感電、火災の原因になります。



点検掃除

電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、はさみ込んだり、
 また汚したりすると、電源コードが破
 損し、感電、火災の原因になります。



禁 止

電源コード・プラグの点検

- 専用コンセントを使用されていますか？
 他の機器と共用になっているときは、専用コンセントに差し換えてください。
- 電源プラグの刃の取り付け面及びコンセントに、ホコリが溜まっていませんか？
 ホコリがついている場合は、ホコリを取り除いてください。
- 電源コードが傷ついたり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、汚れていませんか？
 異常がある場合は販売会社または、電気店に相談してください。

■保管方法

一週間以上使用しないときは、製品を十分に乾燥させてから、湿気のないところに保管してください。

故障の見分け方と処置方法

警告

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理しないこと（刃物の交換・刃物研ぎ・お手入れ作業は除く）



異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

分解禁止

改造は絶対に行わないこと

改造工事をされると、感電、火災の原因になります。



改造禁止

異常時は、電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜くか、元電源を切つてすぐに最寄りの販売会社へ連絡すること



異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。

プラグを抜く

お願い

- 故障かな?と思ったら、次のことをお調べください。それでも具合の悪いときは、販売会社または最寄りの当社各営業所へご連絡ください。
販売会社へ連絡するときは、型式・製造番号・据付年月日と故障状況をお知らせください。

現象	お調べいただきたいところ	処置方法
刃物が回転しない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグが抜け落ちていませんか？ ●プロテクターが作動していませんか？ ●切削室フタが開いていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●コンセントに差し込んでください。 ●プロテクターの項。(P.9参照) ●切削室フタを閉める。
切れない	<ul style="list-style-type: none"> ●刃先が摩耗していませんか？ ●刃先にネギの乾いた汁が付着していませんか？ ●刃物を逆に取り付けていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい刃物と交換する。 ●刃物を正しく付けてください。(p.9参照)
刃物と投入口が接触する	<ul style="list-style-type: none"> ●刃物固定用の蝶ナットが緩んでいませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●蝶ナットを締めてください。(p.9参照)

譲渡・廃棄

譲渡

注意

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところにテープ止めること



テープ止め

廃棄

注意

廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。刃物の廃棄は危険な物として処理してください。



専門業者

仕様

品名	ネギスライサー
型式	SW130A
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	37/42W
定格時間	30分
質量	4.1kg
外形寸法	幅197×奥行312×高さ330mm (斜め切り 最大高さ380mm)
切削能力	薄(約2mm以下) …0.7kg/min 厚(約2mm以上) …1.4kg/min

長年ご使用の厨房・調理機器の点検を！

愛情点検



こんな症状はありませんか？

- スイッチを入れても運転しないことがある。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- いつもより製品が熱くなる。
- こげ臭い「におい」がする。
- 電源コードを曲げると通電しないことがある。
- 触れるとビリビリ電気を感じる。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源プラグを抜く、またはブレードを切り、販売会社に点検・修理をご相談ください。

保証書

品名	ネギスライサー
型式	SW130A
お買上日	年 月 日
保証期間	1 年
お客様の住所	
お名前	
販売店名住所	

※必ず各欄をご記入ください。

●故障が発生した場合は本書記載内容により修理いたします。

- 保証期間内は無料修理いたします。
ただし、次の場合は保証期間内でも有料になります。
 - 誤った使用目的・使用方法・改造による故障。
 - 落下・火災・地震など天災地変による故障。
 - 消耗部品の交換。・保証書のないもの。
- 保証期間後は、修理できる製品についてご希望により有料修理いたします。
- 保証書は紛失されても再発行いたしません。
- 保証書は日本国内で使用される場合のみ有効です。
(This warranty is valid only in japan.)
- 保証期間の内外に関わらず、機械の故障により発生した業務上の保証（操業保証）はいたしません。

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

〒511-0944 三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1



アフターサービスについて

- 保証書は記載内容をご確認の上大切に保管してください。紛失されても再発行は致しません。
- 保証書にお買い上げ日、販売会社など所定事項の記入がないと有効とはなりません。記入がないときはすぐにお買い上げの販売会社にお申し出ください。
- 万一、故障した場合には、保証期間中は保証書の記載内容に準じて無料修理を致します。
- 詳細は保証書をお読みください。
- 保証期間内の修理などアフターサービスについてご不明のときは、お買い上げの販売会社、または、最寄りの当社営業所までご連絡ください。

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

フード機器事業部／三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1 〒511-0944
東京／TEL 03 (5833) 9968 大阪／TEL 06 (6788) 2251
中部／TEL 0594 (32) 1130 福岡／TEL 092 (474) 1312